

(備考)

別掲以外の様式各號を省略。又、本令公布に伴ひ同日官報を以て公布をみたる關係厚生省令を掲ぐれば次の如くである。

醫療關係者徵用令第十九條第五項ノ規定ニ依ル徵用セラレベキ者ノ出頭旅費規則(厚生省令第六十號)  
 醫療關係者徵用令第十九條第五項ノ規定ニ依ル徵用セラレベキ者ノ出頭旅費支辨方ニ關スル件(厚生省令第六十一號)

醫療關係者徵用令ニ依リ地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ニ徵用セラレタル者ノ旅費ニ關スル件(厚生省令第六十二號)  
 醫療關係者徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用支辨方ニ關スル件(厚生省令第六十三號)

**勞働者年金保險法の一部施行期日の件  
 竝に同法施行令及び施行規則の公布**

茲に公布を見たる勞働者年金保險法については既に

本誌第二卷第四號本欄所報の如くであるが、その一部は昭和十七年一月一日より施行せらるることとなつた。右一部施行期日の件に關する勅令竝に之に伴ひ同じく昭和十六年十二月二十九日付官報を以て公布を見たる同法施行令及び施行規則を掲ぐれば以下の如くである。

**勞働者年金保險法ノ一部施行期日ノ件**

(昭和十六年十二月六日  
 勅令第六十二號)

勞働者年金保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ニ第七十六條ノ規定ヲ除クノ外昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

**勞働者年金保險法施行令**

(昭和十六年十二月十七日  
 勅令第六十三號)

**第一章 總則**

第一條 勞働者年金保險法第三條第一項ノ賃金又ハ給

料ニ準ズベキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲グルモノヲ除ク  
 一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當  
 二 通勤手當  
 三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ賃金又ハ給料ノ額ノ決定ニ影響ナキモノ  
 四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條 賃金又ハ給料ニ準ズベキモノノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ健康保險法施行令第二條ノ規定ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ノ定ムル標準價額ニ依リ之ヲ算定ス但シ健康保險ノ被保險者タル被保險者ニ關シテハ同令同條ノ規定ニ依リ算定セラレタル價額ニ依ル

第三條 勞働者年金保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬		報酬月額
	年額	月額	
第一級	百二十圓	十圓	十五圓未滿
第二級	二百四十圓	二十圓	十五圓以上二十五圓未滿
第三級	三百六十圓	三十圓	二十五圓以上三十五圓未滿
第四級	四百八十圓	四十圓	三十五圓以上四十五圓未滿
第五級	六百圓	五十圓	四十五圓以上五十五圓未滿
第六級	七百二十圓	六十圓	五十五圓以上六十五圓未滿
第七級	八百四十圓	七十圓	六十五圓以上七十五圓未滿

第八級	九百六十圓	八十圓	七十五圓以上八十五圓未滿
第九級	千八十圓	九十圓	八十五圓以上九十五圓未滿
第十級	千二百圓	百圓	九十五圓以上百十五圓未滿
第十一級	千三百二十圓	百十圓	百十五圓以上百二十五圓未滿
第十二級	千四百四十圓	百二十圓	百二十五圓以上百三十五圓未滿
第十三級	千五百六十圓	百三十圓	百三十五圓以上百四十五圓未滿
第十四級	千六百八十圓	百四十圓	百四十五圓以上百五十五圓未滿
第十五級	千八百圓	百五十圓	百四十五圓以上

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

勞働者年金保險法第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者(以下任意繼續被保險者ト稱ス)ノ標準報酬ニ付テハ引續キ従前ノモノニ依ル但シ其ノ者ノ申請ニ依リ標準報酬ヲ減額スルコトヲ得

第二項ノ規定ハ前項但書ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ減額スル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス  
一 一年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額ノ十二分ノ一  
二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル月額

三日、時間、稼高又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ現ニ使用セラルル事業ニ於テ同様ノ作業ニ従事シ同様ノ報酬ヲ受ケル者ガ受ケタル報酬ノ額  
四 前三號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ前一月間ニ其ノ地方ニ於テ同様ノ作業ニ従

事シ同様ノ報酬ヲ受ケタル者ガ受ケタル報酬ノ額  
五 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

六 同時ニ二以上ノ業務ニ於テ報酬ヲ受ケル場合ニ於テハ各業務ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額  
被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ地方長官ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定ス

第六條 前三條ノ規定ニ拘ラズ健康保險ノ被保險者タル被保險者ノ標準報酬ハ健康保險法ニ基キ其ノ者ニ付定メタル標準報酬ノ等級ニ相等スル第三條ニ掲グル標準報酬ノ等級ニ該當スル標準報酬ヲ以テ其ノ標準報酬トス

第七條 勞働者年金保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ保險料納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ地方長官ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スベシ  
督促狀ヲ發シタルトキハ督促手数料トシテ二十錢ヲ徴收ス

第八條 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徴收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徴收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徴收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スベキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 納入ノ告知書一通ノ徴收金額五圓未滿ナルトキ  
二 納期ヲ繰上ゲ徴收ヲ爲ストキ

三 納付義務者ノ住所及居所ガ帝國内ニ在ラザル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ  
督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徴收金及督促手数料ヲ完納シタルトキハ延滞金ヲ徴收セズ

第九條 政府ノ事業ニ使用セラルル者ガ勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合ノ組合員ナル場合ニ於テハ其ノ者ハ勞働者年金保險ノ被保險者タラザルモノトス  
第二章 被保險者

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ勞働者年金保險法第十六條第六號又ハ第十七條第二項ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノトス但シ第一號(イ)ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ同號(ロ)若ハ(ハ)ニ該當スル者六月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 臨時ニ使用セラルル者ニシテ左ニ掲グルモノ  
(イ) 六月以内ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者  
(ロ) 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ又ハ試ニ使用セラルル者  
(ハ) 日々雇入レラルル者

二 勞働者年金保險法第十六條ノ規定ニ依ル被保險者(以下強制被保險者ト稱ス)又ハ第十七條ノ規定ニ依ル被保險者(以下任意被保險者ト稱ス)ノ資格ヲ取得シタルコトナクシテ五十歳ヲ超エ同法第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ニ使用セラルル者ニシテ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者タラザラントスル申請ヲ爲スモノ

三 前二號ニ掲グルモノヲ除クノ外厚生大臣ノ定ムル者

第十一條 勞働者年金保險法第十七條第三號ノ規定ニ依ル事業ハ健康保險法第十四條第一項第四號ノ規定ニ依リ指定スル事業トス

第十二條 被保險者タリシ期間十四年以上二十年未滿ナル者ハ被保險者タラザルニ至リタル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル日ヨリ三月以内ニ任意繼續被保險者タラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ地方長官ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得

第一項ノ申請ヲ爲シタル者ガ初テ納付スベキ保險料ニ付第十三條第一號ニ掲グル事實アリタルトキハ繼續シテ其ノ被保險者ト爲ラザリシモノト看做ス

第十三條 勞働者年金保險法第二十三條第一項ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

一 保險料ヲ滯納シ勞働者年金保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ指定ノ期限迄ニ其ノ保險料ヲ納付セザルトキ

二 強制被保險者又ハ任意被保險者ト爲リタルトキ

三 任意繼續被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル申請ヲ爲シタルトキ

### 第三章 保險給付

第十四條 遺族年金ヲ受クベキ者ノ範圍ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下同ジ)並ニ子、父、母、孫、祖父及祖母ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ之ト同一戸籍内ニ在リ且被保險者又ハ被保險者タリシ者

ノ死亡當時之ニ依リ生計ヲ維持シタルモノトス  
被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ出生ノ時迄引續キ之ト同一戸籍内ニ在リ且被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ニ依リ生計ヲ維持シタル者ト看做ス

第十五條 遺族年金ヲ受クベキ者ノ順位ハ前條第一項ニ掲グル順位ニ依ル

前項ノ規定ニ依ル同順位ノ子ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人(之ニ準ズベキ者ヲ含ム以下同ジ)又ハ戸主ハ之ヲ他ノ者ヨリ先ニス

二 男ハ之ヲ女ヨリ先ニス

三 男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニス

四 嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

五 前三號ニ掲グル事項ニ付相同ジキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第一項ノ規定ニ依ル同順位ノ孫ノ間ニ在リテハ其ノ順位ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一 前項ノ規定ニ依リ先順位者タル者ノ子ハ之ヲ後順位者タル者ノ子ヨリ先ニス

二 前號ノ規定ニ依ル同順位者ノ間ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ拘ラズ父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニシ祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父

母ヲ後ニス

先順位者タルベキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生ズルニ至リタルトキハ前四項ノ規定ハ當該後順位者失權シタル後ニ限り之ヲ適用ス

第十六條 男子タル配偶者ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時六十歳以上ナルトキ又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキトキニ限り之ニ遺族年金ヲ支給ス

被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時十五歳以上ノ子若ハ孫又ハ被保險者若ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時六十歳未滿ノ父、母、祖父若ハ祖母ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキトキニ限り之ニ遺族年金ヲ支給ス

第十七條 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者引續キ一年以上所在不明ナルトキハ後順位者ノ申請ニ依リ第十五條ノ規定ニ拘ラズ當該所在不明ナル者ノ順位ヲ繰下グルコトヲ得

第十八條 勞働者年金保險法第三十三條、第三十四條、第三十八條、第三十九條又ハ第四十七條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クベキ者ノ範圍ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ配偶者並ニ子、父、母、孫、祖父及祖母ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之ト同一戸籍内ニ在リタル者トス

勞働者年金保險法第三十三條、第三十四條、第三十八條、第三十九條又ハ第四十七條ノ規定ニ依ル一時金ヲ受クベキ者ノ順位ハ前項ニ掲グル順位ニ依ル

第十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之

ヲ準用ス

第十九條 前條第一項ノ規定ニ該當スル者ナキ場合ニ於テハ左ニ掲グル順位ニ依リ労働者年金保險法第三十三條、第三十四條、第三十八條、第三十九條又ハ第四十七條ノ規定ニ依ル一時金ヲ支給ス但シ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ遺言又ハ保險院長官ニ對シテ爲シタル豫告ニ依リ左ニ掲グル者ノ中一人ヲ特ニ指定シタルトキハ之ニ從フ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ家督相續人又ハ戸主

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ兄弟姉妹ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時之下同一戸籍内ニ在リタルモノ

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者

第二十條 労働者年金保險法第三十六條ノ規定ニ依ル期間ハ發疾ノ原因ト爲リタル疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル日(健康保險ノ被保險者タル被保險者ニ在リテハ健康保險法ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケタル日)ヨリ起算シ一年トス

第二十一條 労働者年金保險法第三十六條ノ規定ニ依リ發疾年金ヲ支給スベキ程度ノ發疾ノ状態ハ別表第一ニ該當スルコトヲ要シ發疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ發疾ノ状態ハ別表第二ニ該當スルコトヲ要ス

第二十二條 労働者年金保險法第四十六條ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

- 一 女子タル配偶者ガ婚姻シタルトキ
- 二 遺族ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戸籍ヲ

去リタルトキ

三 子又ハ孫(被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具發疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキ者ヲ除ク)ガ十五歳ニ達シタルトキ

四 不具發疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキニ因リ遺族年金ノ支給ヲ受クル男子タル配偶者、子、父、母、孫、祖父又ハ祖母ニ付其ノ事情止ミタルトキ

第四章 費用ノ負擔

第二十三條 國庫ハ保險給付ノ計算ノ基礎ト爲リタル被保險者タリシ期間ノ全部ガ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ノ事業場ニ於テ常時坑内作業ニ従事スル被保險者トシテ使用セラレタル期間(以下坑内夫タル被保險者タリシ期間ト稱ス)ナルトキハ其ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ二ヲ、其ノ期間ノ全部ガ其ノ他ノ被保險者タリシ期間ナルトキハ其ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ、其ノ期間ノ一部ガ坑内夫タル被保險者タリシ期間ナルトキハ其ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ノ外坑内夫タル被保險者タリシ期間ノ平均標準報酬年額ニ其ノ期間ニ付労働者年金保險法第二十五條ノ規定ニ依リ計算シタル期間ノ月數ヲ乗ジタル額ノ其ノ額ト其ノ他ノ被保險者タリシ期間ノ平均標準報酬年額ニ其ノ期間ノ月數ヲ乗ジタル額トノ合算額ニ對スル割合ヲ其ノ給付ニ要スル費用ニ乗ジテ得タル額ノ十分ノ一ヲ負擔ス

第二十四條 保險料額ハ各月ニ付労働者年金保險法第二十四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ計算シタル被保險者タリシ期間ガ一月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トシ半月ナルトキハ被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジ

テ得タル額ノ半額トス

保險料率ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ノ事業場ニ使用セラルル被保險者ニシテ常時坑内作業ニ従事スルモノ(以下坑内夫タル被保險者ト稱ス)ニ關スルモノト其ノ他ノ被保險者ニ關スルモノト各別ニ厚生大臣之ヲ定ム

第二十五條 任意繼續被保險者ト爲リタル者ニ關スル其ノ月ノ保險料額ハ其ノ被保險者ト爲リタル日前ノ保險料額ト其ノ被保險者ト爲リタル日以後ノ保險料額トニ付各別ニ前條第一項ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

前項ノ規定ハ坑内夫タル被保險者ニシテ其ノ他ノ被保險者ト爲リタルモノ又ハ其ノ他ノ被保險者ニシテ坑内夫タル被保險者ト爲リタルモノニ關スル其ノ月ノ保險料額ノ算定ニ之ヲ準用ス

第二十六條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スベキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

事業主ハ被保險者ガ其ノ事業ニ使用セラレザルニ至リタルトキニ限り前項ノ規定ニ拘ラズ報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スベキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

第二十七條 事業主ハ保險料ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閱覽セシムベシ

第二十八條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スベシ但シ任意繼續被保險者ノ納付スベキ保險料ニ付テハ厚生大臣ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部

分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以內ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第二十九條 保險料納付義務者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

一 國稅 府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

二 被保險者ノ使用セラルル工場、事業場又ハ事業ヲ廢止シタルトキ

三 強制執行ヲ受クルトキ

四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

五 競賣ノ開始アリタルトキ

六 法人ガ解散ヲ爲シタルトキ

附則

第三十條 本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十一條 勞働者年金保險法第七十二條第一項ノ規定ニ該當スル者ガ同法同條同項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ被保險者タリシ期間一年以上ナリシトキハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後更ニ被保險者ト爲ルコトナクシテ一年ヲ經過シタル場合ニ非ザルトキト雖モ脱退手當金ヲ支給ス此ノ場合ニ於テ脱退手當金ノ額ハ被保險者タリシ全期間ノ平均標準報酬月額ノ

三十分ノ一ノ額ニ別表第三ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル金額トス但シ癱疾手當金ノ支給ヲ受クル者ニ支給スル額ハ癱疾手當金ノ額ト合算シテ被保險者タリシ全期間ノ平均標準報酬月額ノ十五月分ニ相當スル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

勞働者年金保險法第七十二條第二項ノ規定ニ該當スル者ガ同法同條同項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ被保險者タリシ全期間ノ平均標準報酬月額ノ三十分ノ一ノ額ニ別表第四ニ定ムル日數ヲ乘ジテ得タル額ノ脱退手當金ヲ支給ス

第三十二條 勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ニ於テ事業主及勞働者ノ出捐スル共濟組合ニシテ厚生大臣ノ指定シタルモノノ組合員タル被保險者ガ事業主ノ同意ヲ得テ同日ヨリ一月以內ニ被保險者タラザラントスル申請ヲ爲ストキハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ニ遡リテ被保險者タラザルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定スル共濟組合ハ左ノ要件ヲ具フルモノニ限ル

一 被保險者タル組合員ニ對スル其ノ組合ノ納付ノ種類及程度ガ保險給付ノ種類及程度ニ略同ジナルコト

二 被保險者タル組合員ニ對スル其ノ組合ノ給付ノ中保險給付ニ相當スル給付ニ要スル費用ニ關スル出捐年額ガ其ノ者ヲ被保險者トシタル場合ニ於ケル其ノ者ニ關スル勞働者年金保險ノ保險料年額ニ相當スル金額以上ニシテ事業主ガ其ノ出捐年額ノ二分ノ一以上ヲ負擔スルモノナルコト

第三十三條 強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノガ同條同項ニ規定スル共濟組合ノ組合員タラザルニ至リタルトキハ爾後被保險者トス

第三十四條 勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ニ於テ郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人タル強制被保險者ガ年金契約者ノ同意ヲ得テ同日ヨリ三月以內ニ申請ヲ爲ストキハ同日ヨリ起算シ三年ヲ經過シタル日ニ於テ其ノ間ニ於ケル平均標準報酬年額ヲ改定ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 當該年金契約ノ年金受取人ガ同日ヨリ三年以內ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキ

二 當該年金契約ガ效力ヲ失フニ至リタルトキ

三 第一號ノ期間內ニ當該年金契約ガ年金支拂開始期ニ達シタルトキ

第三十五條 前條ノ規定ニ依リ平均標準報酬年額ヲ改定スル場合ニ於テハ同條ニ規定スル年金契約ニ關シ勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日前ニ拂込マレタル掛金ニ命令ヲ以テ定ムル計算ニ依ル年三分三毛六糸ノ利子ヲ附シタル金額ト同日以後ニ拂込マレタル掛金トノ合計額(年金契約ニ基キテ爲シタル貸付ニ付政府ガ辦濟ヲ受ケベキ金額アルトキハ其ノ金額ヲ控除シタル殘額以下同ジ)ヲ同條ニ規定スル三年ニ對スル勞働者年金保險ノ積立金率ヲ以テ除シテ得タル額ト同期間ニ於ケル平均標準報酬年額トヲ合算シテ計算ス但シ其ノ額ガ千八百圓ヲ超ユルトキハ之ヲ千八百圓トス

前項但書ノ場合ニ於テ前條ニ規定スル三年間ニ於ケル從前ノ平均標準報酬年額ト千八百圓トノ差額ニ其ノ三年ニ對スル勞働者年金保險ノ積立金率ヲ乘ジ

テ得タル金額ト前項ニ規定スル労働者年金保険法中  
保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日前ニ拂  
込マレタル掛金ニ命令ヲ以テ定ムル計算ニ依ル年三  
分三毛六糸ノ利子ヲ附シタル金額ト同日以後ニ拂込  
マレタル掛金トノ合計額トノ差額ハ之ヲ返還金受取  
入ニ支拂フ

第三十六條 第三十四條ノ申請ヲ爲シタル者ニ關スル  
年金契約ハ平均標準報酬年額ノ改定ヲ爲シタル日ヨ  
リ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ失フ

第三十七條 労働者年金保険法中保險給付及費用ノ負  
擔ニ關スル規定施行ノ日ニ於テ郵便年金令第十四條  
ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人タル被  
保險者ハ事業主ノ同意ヲ得テ同日ヨリ一月以内ニ被  
保險者タラザラントスル申請ヲ爲ストキハ被保險者  
ノ資格ヲ取得シタル日ニ遡リテ被保險者タラザルコ  
トヲ得

第三十八條 前條ノ申請ヲ爲スニハ同條ニ規定スル年  
金受取人ニ關スル年金契約ガ左ノ要件ヲ具フルモノ  
ナルコトヲ要ス

一 當該年金受取人ヲ被保險者トシタル場合ニ於ケ  
ル其ノ者ニ關スル労働者年金保險ノ保險料年額ノ  
半額ニ相當スル金額以上ノ掛金ヲ毎半年ニ拂込ム  
モノナルコト

二 當該年金受取人ヲ使用スル事業主ガ前號ニ規定  
スル毎半年ノ掛金ニ付當該年金受取人ヲ被保險者  
トシタル場合ニ於ケル其ノ者ニ關スル労働者年金  
保險ノ保險料年額ノ半額ノ二分ノ一以上ニ相當ス  
ル金額ヲ負擔スルモノナルコト

三 當該年金受取人ヲ以テ返還金受取人ト爲スモノ

ナルコト

第三十九條 第三十七條ノ規定ニ依リ被保險者タラザ  
ル者ガ現ニ使用セラルル工場、事業場又ハ事業ニ使  
用セラレザルニ至リタル後更ニ労働者年金保險法第  
十六條ノ工場、事業場又ハ事業ニ強制被保險者ト爲  
ルベキ資格ヲ有スル者トシテ使用セラルルニ至リタ  
ルトキハ爾後被保險者トス但シ事業主ノ同意ヲ得テ  
其ノ使用セラルルニ至リタル日ヨリ十五日以内ニ被  
保險者タラザラントスル申請ヲ爲シタル場合ニ於テ  
ハ繼續シテ被保險者タラザルコトヲ得

第三十八條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條 強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者ニ  
シテ第三十七條又ハ前條第一項但書ノ規定ニ依リ被  
保險者タラザルモノニ關スル年金契約ガ左ノ各號ノ  
一ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ者ハ爾後  
被保險者トス

一 當該年金契約ニ付年金契約者ガ第三十八條ニ規  
定スル掛金ヲ拂込マズシテ命令ノ定ムル期間ヲ經  
過シタルトキ

二 當該年金契約ガ解除セラレタルトキ  
三 當該年金契約ガ年金支拂開始期ニ達シタルトキ  
前項第三號ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル者ニシ  
テ五十歳未滿ノモノハ第十條第二號ノ規定ノ適用ニ  
付テハ之ヲ五十歳ヲ超エタル者ト看做ス

第四十一條 第三十九條第一項又ハ前條第一項第一號  
ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル者ガ年金契約者ノ  
同意ヲ得テ被保險者ト爲リタル日ヨリ三月以内ニ申  
請ヲ爲ストキハ第三十七條ノ規定ニ依リ被保險者タ  
ラザルニ至リタル日ヨリ第三十九條第一項又ハ前條

第一項第一號ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ノ  
前日迄ニ於テ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル  
者トシテ労働者年金保險法第十六條ノ工場、事業場  
又ハ事業ニ使用セラレタル期間ハ其ノ期間ニ付同法  
第二十四條ノ規定ニ依リ計算ヲ爲シタル上之ヲ同法  
同條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間ト看做ス

前項ノ規定ニ拘ラズ第四十二條第一項但書前段ノ場  
合ニ於テハ第三十九條第一項又ハ前條第一項第一號  
ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ニ於テ年金受取  
人ノ爲ニ積立テタル金額(年金契約ニ基キテ爲シタ  
ル貸付ニ付政府ガ辨濟ヲ受クベキ金額アルトキハ其  
ノ金額ヲ控除シタル殘額以下同ジ)ヲ百二十圓ヲ以  
テ除シテ得タル數ヲ保險給付ニ要スル費用總額ニ對  
スル積立金率(以下積立金率ト稱ス)ト看做シ其ノ  
積立金率ニ對スル期間ヲ以テ労働者年金保險法第  
二十四條ノ規定ニ依ル被保險者タリシ期間ト看做  
ス

第四十二條 前條第一項ノ規定ニ依リ被保險者タリシ  
期間ト看做シタル期間ニ於ケル平均標準報酬年額ハ  
第三十九條第一項又ハ第四十條第一項第一號ノ規定  
ニ依リ被保險者ト爲リタル日ニ於テ年金受取人ノ爲  
ニ積立テタル金額ヲ前條第一項ノ規定ニ依リ被保險  
者タリシ期間ト看做シタル期間ニ對スル積立金率ヲ  
以テ除シテ得タル額トス但シ此ノ場合ニ於テ其ノ平  
均標準報酬年額ガ百二十圓ニ滿タザルトキハ之ヲ百  
二十圓トシ其ノ平均標準報酬年額ガ千八百圓ヲ超ユ  
ルトキハ之ヲ千八百圓トス

前項但書後段ノ場合ニ於テハ千八百圓ニ前條第一項  
ノ規定ニ依リ被保險者タリシ期間ト看做シタル期間

二 對スル積立金率ヲ乘ジテ得タル金額ト當該年金契約ノ年金受取人ノ爲ニ積立テタル金額トノ差額ハ之ヲ返還金受取人ニ支拂フ

第四十三條 第四十一條第一項ノ申請ヲ爲シタル者ニ關スル年金契約ハ其ノ者ガ第三十九條第一項又ハ第八十條第一項第一號ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ將來ニ向テノ其ノ效力ヲ失フ

第四十四條 第三十四條乃至前條ノ規定ハ勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定施行ノ日ニ於テ郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人タル者ニシテ同日ニ於テ同法第十六條但書ノ規定ニ該當スルニ因リ強制被保險者ト爲ラザルモノガ同日後ニ於テ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十五條 郵便年金令第十四條ノ規定ニ依ル掛金ノ割引ハ左ノ各號ノ場合ニ於テ同令同條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人ノ數ガ同令同條第一項ニ規定スル割合又ハ八人數ヲ下リタル場合ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

一 郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人ガ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ當該年金契約ガ同令同條ノ規定ノ適用ヲ受ケザルニ至リタルトキ

二 郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人ニシテ被保險者タルモノ又ハ第三十七條若ハ第三十九條第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者タラザルモノガ郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル年金契約ノ年金受取人タラザルニ至リタルトキ

別表第一

番號	廢疾年金ヲ支給スベキ程度ノ廢疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼失明シ他眼ノ視力〇・三以下ニ減ジタルモノ
二	咀嚼若ハ言語ノ機能ヲ廢シタルモノ又ハ咀嚼若ハ言語ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
三	兩耳ノ聽力耳鼓ニ接セザレバ大體ヲ解シ得ザルモノ
四	脊柱ニ著シキ畸形又ハ運動障害ヲ殘スモノ
五	一上肢ノ腕關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十指ヲ失ヒタルモノ
六	一上肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ十指ノ用ヲ廢シタルモノ
七	一下肢ノ足關節以上ニテ失ヒタルモノ又ハ十趾ヲ失ヒタルモノ
八	一下肢ノ三大關節ノ中ニ關節以上ノ用ヲ廢シタルモノ
九	胸腹部臟器ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十	精神又ハ神經系統ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘シ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ
十一	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ終身勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

備考

- 一 視力ノ測定ハ萬國式視力表ニ依ル屈折異常アルモノニ付テハ矯正視力ニ付測定ス
- 二 指ヲ失ヒタルモノトハ拇指ハ指關節其ノ他ノ指ハ第一指關節以上ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 三 指ノ用ヲ廢シタルモノトハ指ノ末節ノ半以上ヲ失ヒ又ハ掌指關節若ハ第一指關節(拇指ニ在リテハ指關節)ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ
- 四 趾ヲ失ヒタルモノトハ其ノ全部ヲ失ヒタルモノヲ謂フ
- 五 趾ノ用ヲ廢シタルモノトハ第一趾ハ末節ノ半

別表第二

番號	廢疾手當金ヲ支給スベキ程度ノ廢疾ノ狀態
一	兩眼ノ視力〇・六以下ニ減ジタルモノ又ハ一眼ノ視力〇・一以下ニ減ジタルモノ
二	兩眼ニ半盲症、視野狹窄若ハ視野變狀ヲ殘スモノ又ハ兩眼ノ眼瞼ニ著シキ缺損ヲ殘スモノ
三	鼻ヲ缺損シ其ノ機能ニ著シキ障害ヲ殘スモノ
四	咀嚼又ハ言語ノ機能ニ障害ヲ殘スモノ
五	兩耳ノ聽力四十種以上ニテハ尋常ノ話聲ヲ解シ得ザルモノ又ハ一耳ノ聽力耳鼓ニ接セザレバ大體ヲ解シ得ザルモノ
六	頸部ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノ
七	一手ノ一指以上ヲ失ヒタルモノ(中指、環指又ハ小指ノミヲ失ヒタルモノヲ除ク)又ハ一手ノ拇指ノ用ヲ廢シタルモノ、示指ヲ併セ二指ノ用ヲ廢シタルモノ若ハ拇指及示指以外ノ三指ノ用ヲ廢シタルモノ
八	一上肢ノ三大關節ノ中ニ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一上肢ニ假關節ヲ殘スモノ
九	一下肢ヲ三種以上短縮シタルモノ
十	一下肢ノ三大關節ノ中ニ一關節ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一下肢ニ假關節ヲ殘スモノ
十一	十趾ノ用ヲ廢シタルモノ又ハ一足ノ第一趾若ハ他ノ四趾ヲ失ヒタルモノ
十二	胸腹部臟器ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十三	精神ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十四	神經系統ノ機能ニ障害ヲ殘シ輕易ナル勞務ノ外服スルコトヲ得ザルモノ
十五	以上各號ニ該當セザルモノト雖モ疾病又ハ負傷ニ因リ勞働者トシテ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルモノ

備考

別表第一ノ備考ト同ジ

以上、其ノ他ノ趾ハ末關節以上ヲ失ヒタルモノ又ハ蹠趾關節若ハ第一趾關節(第一趾ニ在リテハ趾關節)ニ著シキ運動障害ヲ殘スモノヲ謂フ

別表第三

被保險者 リシ期間	勞働者年金保險法中保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定 施行ノ日ニ於テ現ニ使用セラルル事業主ノ工場、事業場 若ハ事業又ハ現ニ使用セラルル工場、事業場若ハ事業主 同日迄引續キ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者ト シテ使用セラレタル期間						
	一年以上	二年以上	三年以上	四年以上	五年以上	八年以上	十一年以上
一年以上	三	十三	十三	十三	十三	十三	十三
二年以上	四	十四	十四	十五	十六	十六	十六
三年以上	五	十五	十六	十七	十八	十八	十八
四年以上	六	十六	十七	十八	十九	十九	十九
五年以上	八	十九	二十	二十	二十	二十	二十
六年以上	百	百	百	百	百	百	百
七年以上	二百	二百三十	二百四十	二百五十	二百六十	二百六十	二百六十
八年以上	四百	四百五十	四百六十	四百七十	四百八十	四百八十	四百八十

九年以上	百六十	百七十	百八十	百九十	二百
十年以上	百八十	百九十二	百	二百十二	二百二十
十一年以上	二百	二百十二	二百三十二	二百四十	
十二年以上	二百二十二	二百三十二	二百四十二	二百五十二	二百六十
十三年以上	二百四十二	二百五十二	二百六十二	二百七十二	二百八十
十四年以上	二百六十二	二百七十二	二百八十二	二百九十三	百
十五年以上	二百八十二	二百九十三	百	三百十三	三百二十
十六年以上	百	三百十三	三百二十三	三百三十三	三百四十五
十七年以上	三百二十三	三百三十三	三百四十三	三百五十三	三百七十
十八年以上	三百四十三	三百五十三	三百六十五	三百八十五	三百九十五
十九年以上	三百六十三	三百七十五	三百九十五	四百	四百二十

勞働者年金保險法施行規則

(昭和十六年十二月二十九日)  
(厚生省令第七十號)

第一章 總則

第一條 勞働者年金保險ノ事務ヲ管掌スル地方長官

(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ハ本令中別段ノ定アル場合ヲ除クノ外勞働者年金保險法(以下法ト稱ス)第十六條ノ規定ニ依ル被保險者(以下強制被保險者ト稱ス)又ハ法第十七條ノ規定ニ依ル被保險者(以下任意被保險者ト稱ス)ニ付テハ其ノ被保險者ノ使用セラルル工場、事業場又ハ工場若ハ事業場ナキ事業ニ在リテハ事務所(以下事業所ト總稱ス)ノ所在地ヲ管轄スル地方長官、法第二十二條ノ規定ニ依

ル被保險者(以下任意繼續被保險者ト稱ス)ニ付テハ其ノ被保險者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官、住所地ヲ管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監トス

前項ノ規定ニ拘ラズ被保險者ガ健康保險組合ノ管轄スル健康保險ノ被保險者ナル場合ニ於テハ勞働者年金保險ノ事務ヲ管掌スル地方長官ハ健康保險組合ノ事務所ニシテ其ノ者ノ健康保險ノ被保險者ノ資格ニ關スル事務ヲ處理スル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第二條 被保險者ガ同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ其ノ者ノ保險ノ事務ヲ管掌スル地方長官ガ二以上アルトキハ被保險者ハ其ノ者ノ保險ノ事務ヲ管掌スベキ地方長官ヲ定メ其

ノ旨ヲ其ノ地方長官ニ届出ツベシ  
地方長官ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係アル地方長官ニ之ヲ通知スベシ  
被保險者政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ナル場合ニ於テ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第二條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第二章 被保險者

第一節 被保險者ノ資格

第三條 強制被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第一號ニ依ル届書(正副二通)ヲ十日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ當該被保險者ガ同時ニ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ取



得シタルニ因リ事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第十條第一項但書ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 營テ被保險者タリシコトアル者ハ強制被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ其ノ資格取得ノ際左ニ掲グル事項ヲ事業主ニ申出ヅベシ

- 一 被保險者黨帳ノ記號及番號
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日
- 三 強制被保險者ノ資格ヲ取得スル直前ニ於テ任意繼續被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ事業主ハ前條ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スベシ

第五條 任意被保險者ノ資格取得ノ申請ヲ爲サントスル者ハ様式第二號ニ依ル申請書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スベシ

營テ被保險者タリシコトアル者ハ前項ノ規定ニ依ル申請ヲ爲サントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ前項ノ申請書ニ附記スベシ

- 一 被保險者黨帳ノ記號及番號
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ變更前ノ氏名及變更ノ年月日
- 三 任意繼續被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ旨

第六條 養老年金又ハ癱疾年金ノ支給ヲ受クル者ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタルトキハ直チニ養老年金證書又ハ癱疾年金證書(養老年金證書又ハ癱疾年金證書)

書ヲ提出スルコト能ハザルトキハ其ノ事由書)ヲ事業主ニ提出スベシ

事業主ハ前項ノ規定ニ依リ養老年金證書若ハ癱疾年金證書又ハ事由書ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ保險院長官ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テ其ノ證書又ハ事由書ヲ提出スルコト能ハザルトキハ遲滞ナク其ノ事由ヲ保險院長官ニ届出ヅベシ

第七條 保險院長官ハ前條第二項ノ規定ニ依リ養老年金證書若ハ癱疾年金證書又ハ事由書ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ受領證ヲ事業主ニ送付スベシ

事業主ハ前項ノ受領證ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ交付スベシ

保險院長官ハ前條第二項ノ規定ニ依リ事業主ノ提出シタル養老年金證書又ハ癱疾年金證書ヲ保管スベシ

第八條 地方長官ハ初テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シ保險院長官ヨリ其ノ被保險者黨帳ノ記號及番號ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ其ノ被保險者ヲ使用スル事業主ニ通知スルト共ニ被保險者黨帳ノ記號及番號ヲ記載シタル通知票(以下記番號通知票ト稱ス)ヲ被保險者ニ交付スベシ

地方長官ハ記番號通知票ヲ被保險者ニ交付セントスルトキハ之ヲ其ノ被保險者ヲ使用スル事業主ニ送付スベシ

事業主ハ前項ノ規定ニ依リ記番號通知票ノ送付ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ交付スベシ

記番號通知票ヲ滅失シタル者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第九條 法第十六條ノ工場、事業場又ハ事業ガ法第十

八條各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ事業主ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ五日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第十九條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 事業主ノ氏名及住所(事業主ガ法人ナルトキハ名稱及主タル事務所ノ所在地以下同ジ)
- 二 事業所ノ名稱及所在地
- 三 該當スルニ至リタル年月日及事由

第十條 強制被保險者又ハ任意被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第三號ニ依ル届書(正副二通)ヲ五日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ左ニ掲グル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 當該被保險者ガ同時ニ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルニ因リ事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第十條第二項ノ書ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合
- 二 任意被保險者ガ法第二十一條ノ認可ヲ受ケ其ノ資格ヲ喪失シタル場合
- 三 任意被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル者ハ事業主ニ其ノ旨ヲ申出デタル上様式第四號ニ依ル申請書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十二條 任意繼續被保險者タラントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官、住所地ヲ管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者黨帳ノ記號及番號
- 三 被保險者資格喪失ノ年月日

四 被保險者資格喪失ノ際使用セラレタル事業所ノ名稱及所在地

五 勞働者年金保險法施行令(以下令ト稱ス)第十二條第一項ノ期間經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

第十三條 任意繼續被保險者ノ資格ヲ喪失セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官、住所地方管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者臺帳ノ記號及番號
- 三 被保險者資格喪失ノ申請ヲ爲ス事由

第十四條 被保險者ハ同時ニ二以上ノ業務ニ使用セラルルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ當該二以上ノ業務ニ使用セラルルコトニ付被保險者ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第十二條ノ規定ニ依

- ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 被保險者ノ氏名及生年月日
- 二 被保險者臺帳ノ記號及番號
- 三 各業務ニ付被保險者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所
- 四 各業務ニ付被保險者ガ現ニ使用セラルル各事業所ノ名稱及所在地

第十五條 強制被保險者又ハ任意被保險者ハ其ノ氏名ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク變更後ノ氏名及變更ノ年月日ヲ事業主ニ申出ヅベシ

第十六條 事業主ハ前條ノ規定ニ依ル申出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ

地方長官ニ提出スベシ但シ當該被保險者ノ氏名ノ變更ニ付事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第二十條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 事業主ノ氏名及住所
- 二 事業所ノ名稱及所在地
- 三 被保險者ノ氏名及生年月日
- 四 被保險者臺帳ノ記號及番號
- 五 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

第十七條 事業主ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ノ事業場ニ使用セラルル被保險者ニシテ當時坑内作業ニ從事スルモノ(以下坑内夫タル被保險者ト稱ス)ガ其ノ他ノ被保險者ト爲ルニ至リタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者ガ坑内夫タル被保險者ト爲ルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ五日以内ニ地方長官ニ提出スベシ

- 一 事業主ノ氏名及住所
- 二 事業所ノ名稱及所在地
- 三 被保險者ノ氏名及生年月日
- 四 被保險者臺帳ノ記號及番號
- 五 坑内夫タル被保險者又ハ其ノ他ノ被保險者ト爲ルニ至リタル年月日

第十八條 事業主ハ事業ノ種類、事業主ノ氏名若ハ住所又ハ事業所ノ名稱若ハ所在地ニ變更アリタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ五日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ當該事項ノ變更ニ付事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第二十條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 事業主ノ氏名及住所
- 二 事業所ノ名稱及所在地
- 三 變更前ノ事項及變更後ノ事項並ニ變更ノ年月日

第十九條 事業主ニ變更アリタルトキハ事業主及事業主タリシ者ハ連署ヲ以テ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ五日以内ニ地方長官ニ提出スベシ但シ當該事業主ノ變更ニ付事業主及事業主タリシ者ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第十八條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 事業ノ種類及新舊名稱
  - 二 事業所ノ所在地
  - 三 變更ノ年月日及事由
  - 四 事業主及事業主タリシ者ノ氏名及住所
- 事業ノ一部ニ付事業主ノ變更アリタル場合ニ於テハ前項ノ届書ニ其ノ變更アリタル事業ニ使用セラルル被保險者ノ氏名並ニ被保險者臺帳ノ記號及番號ヲ附記スベシ

第二十條 任意繼續被保險者ハ其ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ地方長官、住所地方管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監ニ提出スベシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 被保險者臺帳ノ記號及番號
- 三 變更前ノ氏名又ハ住所
- 四 變更ノ年月日

第二十一條 令第十條第二號ノ規定ニ依リ被保險者タラザラントスル申請ヲ爲サントスル者ハ事業主ノ同意ヲ得テ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スルニ至リタル日ヨリ

一月以内ニ地方長官ニ提出スベシ

一 申請者ノ氏名、生年月日及住所

二 申請者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所

三 申請者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在地

四 前號ノ事業所ニ使用セラルルニ至リタル年月日

五 強制被保険者ト爲ルベキ資格ヲ有スルニ至リタル年月日

六 令第四十條第二項ノ規定ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 申請者ノ生年月日ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本

二 事業主ノ同意書

第二十二條 令第十條第三號ノ規定ニ依リ季節的業務ニ使用セラルル者ヲ被保険者タラザル者トシテ指定ス但シ其ノ者ガ繼續シテ六月ヲ超エ使用セラルベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二節 標準報酬

第二十三條 健康保險ノ被保険者タラザル任意被保険者ヲ使用スル事業主ハ令第四條第二項ノ規定ニ依リ其ノ被保険者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキハ遲滞ナク様式第五號ニ依ル届書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スベシ

第二十四條 地方長官ハ健康保險ノ被保険者タラザル任意被保険者ヲ使用スル事業主ニ對シ地方長官ノ定ムル日ノ現在ニ於ケル其ノ被保険者ノ報酬月額算定ノ基礎ノ届出ヲ命ズルコトヲ得

事業主ハ前項ノ規定ニ依ル命令アリタルトキハ様式第五號ニ依ル届書(正副二通)ヲ前項ニ定ムル日ヨリ十日以内ニ地方長官ニ提出スベシ

第二十五條 健康保險組合ノ管掌スル健康保險ノ被保險者タル被保険者ヲ使用スル事業主ハ其ノ被保險者ニ付健康保險組合ヨリ健康保險法施行規則第五條第一項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ變更ノ決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク様式第五號ニ依ル届書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スベシ

第二十六條 地方長官ハ健康保險ノ被保険者タラザル者ヨリ第五條ノ規定ニ依リ申請アリタルトキ又ハ事業主ヨリ第二十三條若ハ第二十四條第二項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ遲滞ナク被保険者ノ標準報酬ヲ決定シ之ヲ事業主ニ通知スベシ標準報酬ノ變更シタルトキ亦同ジ

第二十七條 任意繼續被保険者ハ其ノ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官、住所地ヲ管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保険者ノ帳簿ノ記號及番號

三 現在ノ標準報酬ノ等級

四 希望スル標準報酬ノ等級

任意繼續被保険者ト爲ルト同時ニ標準報酬ノ減額ヲ受ケントスルトキハ其ノ標準報酬ノ減額ノ申請ハ第十二條ノ申請書ニ前項第三號及第四號ニ掲グル事項ヲ附記シテ之ヲ爲スコトヲ得

第一項又ハ前項ノ規定ニ依ル申請アリタルトキハ地方長官、住所地ヲ管轄スル地方長官ナキトキハ警視總監ハ其ノ標準報酬ヲ減額シ之ヲ其ノ被保險者ニ通知スベシ

第三章 保險給付

第一節 總則

第二十八條 左ニ掲グル場合ニ於テハ同一ノ事業主ノ工場、事業場若ハ事業又ハ同一ノ工場、事業場若ハ事業ニ被保險者トシテ引續キ使用セラレタル實期間六月未滿ナルトキト雖モ其ノ期間ニ於ケル被保險者タリシ期間ハ之ヲ被保險者タリシ期間ニ合算ス

一 被保險者ガ死亡シタル場合

二 被保險者ガ廢疾ト爲ルニ至リタル場合

三 被保險者ガ事業ノ都合ニ依リ解雇セラレタル場合

四 被保險者ガ疾病、負傷又ハ老衰ノ爲引續キ從來ノ勞務ニ服スルコト能ハザルニ因リ退職シタル場合

五 被保險者ガ陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルニ因リ退職シタル場合

六 被保險者ガ徵用セラレタルニ因リ退職シタル場合

七 被保險者ガ就業規則又ハ之ニ準ズベキモノニ依リ定ムル停年ニ達シタルニ因リ退職シタル場合

八 被保險者ガ事業主ノ同意ヲ得テ退職シタル場合

九 女子タル被保險者ガ婚姻ノ爲退職シタル場合

第二十九條 養老年金ヲ受クル権利ヲ有スル者ガ廢疾年金ヲ受クル権利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ廢疾年金ハ之ヲ支給セズ養老年金ヲ受クル権利ヲ有ス

ルニ至リタル者ガ同時ニ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキ亦同ジ

廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ養老年金ヲ受クル權利ヲ有スルニ至リタルトキハ其ノ權利ヲ有スル者ノ選擇ニ依リ一ノ年金ヲ支給ス

第三十條 内地ニ住所地ヲ有スル被保險者、被保險者タリシ者又ハ其ノ他ノ者ヨリ保險院長官ニ提出スル保險給付ニ關スル請求書又ハ届書ハ住所地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スベシ

第二節 養老年金

第三十一條 養老年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ養老年金證書ヲ交付ス

養老年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保險者臺帳ノ記號及番號

三 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

四 最後ニ被保險者トシテ使用セラレタル事業所ノ名稱及所在地

五 同一ノ事業主ノ工場、事業場若ハ事業又ハ同一ノ工場、事業場若ハ事業ニ於テ引續キ被保險者タリシ期間十年以上ナル者ニ在リテハ當該事業主ノ氏名又ハ當該事業所ノ名稱

六 法第三十一條第二項ノ規定ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ旨

七 第二十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ選擇スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 生年月日ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ

抄本

二 印鑑票

三 廢疾年金證書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ前項ノ請求書ニ同項第七號ニ掲グル事項ヲ記載シタルモノニ在リテハ其ノ證書(廢疾年金證書ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由書)

保險院長官ハ前項第三號ノ規定ニ依リ廢疾年金證書又ハ事由書ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ受領證ヲ提出者ニ送付スベシ

第三十二條 養老年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

一 養老年金證書ノ記號及番號

二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 養老年金ノ額

四 養老年金ノ支給開始ノ年月

第三十三條 法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ停止セラレタル者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタルトキハ保險院長官ニ對シ養老年金證書ノ返還ヲ請求スベシ

前項ノ場合ニ於テ使用スベキ印章ハ第三十一條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章

(第三十八條ノ規定ニ依リ印章ヲ變更シタルトキハ變更後ノ印章)タルコトヲ要ス

保險院長官ハ第一項ノ規定ニ依リ請求ヲ受ケタルトキハ養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ年金受給者ニ送付スベシ

第三十四條 養老年金ハ毎年二月、五月、八月及十一月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ前支給期月ニ支給スベカリシ養老年金又ハ養老年金受給者

ガ死亡シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ養老年金ハ支給期月ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

第三十五條 養老年金受給者ハ養老年金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ別ニ指定スル官署ニ就キ養老年金證書(第六條ノ規定ニ依リ養老年金證書ヲ提出シタル者ニ在リテハ養老年金證書ノ受領證)ヲ提出シテ其ノ支給ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テ使用スベキ印章ハ第三十一條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章(第三十八條ノ規定ニ依リ印章ヲ變更シタルトキハ變更後ノ印章)タルコトヲ要ス

第三十六條 養老年金受給者ハ其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號及番號

三 變更前ノ氏名及變更ノ年月日

前項ノ届書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 養老年金證書

二 氏名ノ變更ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本

保險院長官ハ第一項ノ届書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ届書ニ添附シタル養老年金證書ヲ更訂シ之ヲ養老年金受給者ニ送付スベシ

第三十七條 養老年金受給者ハ其ノ住所ヲ變更シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號及番號

一 氏名及住所

二 養老年金證書ノ記號及番號

三 變更前ノ住所及變更ノ年月日

第三十八條 養老年金受給者ハ第三十一條第二項ノ請求書ニ添附シタル印鑑票ニ捺捺シタル印章ヲ變更セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ新印鑑票ヲ添ヘ之ヲ保険院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所  
二 養老年金證書ノ記號及番號

第三十九條 養老年金受給者ハ毎年三月中ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ届出ノ日前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル其ノ者ノ生存ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本ヲ添ヘ之ヲ保険院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ養老年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所  
二 養老年金證書ノ記號及番號

前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十五條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第四十條 養老年金受給者ハ養老年金證書ヲ亡失シタルトキ又ハ養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル再交付ノ請求書ヲ保険院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所  
二 養老年金證書ノ記號及番號  
三 亡失シタルトキハ其ノ事實

養老年金證書ガ毀損汚斑シテ不判明ト爲リタル場合ノ再交付ノ請求ナルトキハ前項ノ請求書ニハ其ノ養老年金證書ヲ添附スベシ

第四十一條 養老年金證書ノ再交付アリタルトキハ從

前ノ養老年金證書ハ其ノ效力ヲ失フ

第四十二條 養老年金受給者ガ死亡シタルトキハ其ノ遺族ハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ保険院長官ニ提出スベシ

一 届出者ノ氏名及住所  
二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 養老年金證書ノ記號及番號（不詳ナルトキハ其ノ旨）

第四十三條 養老年金受給者ガ死亡シタル場合ニ於テ其ノ者ガ支給ヲ受タル權利ヲ有スル年金ニシテ支給ヲ受ケザリシモノノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保険院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名及住所  
二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日  
三 養老年金證書ノ記號及番號（不詳ナルトキハ其ノ旨）

四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ  
一 養老年金證書（之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由書）  
二 養老年金受給者ノ死亡ニ因ル相續關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

第四十四條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十四條但書ノ規定ニ依リ法第三十三條又ハ法第三十四條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受クベキ者ヲ豫告ニ依リ指定セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ

タル豫告書ヲ保険院長官ニ提出スベシ其ノ指定ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一 豫告者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者臺帳ノ記號及番號（豫告者ガ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號及番號）

三 指定セラルル者ノ氏名、生年月日及住所並ニ豫告者トノ續柄又ハ關係

前項ノ豫告書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ  
一 指定セラルル者ト豫告者トノ續柄ヲ證スベキ書類

二 豫告書ニ捺捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書

第四十五條 前條ノ指定ヲ取消サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル豫告取消書ヲ保険院長官ニ提出スベシ  
一 豫告者ノ氏名、生年月日及住所  
二 被保險者臺帳ノ記號及番號（豫告者ガ養老年金受給者ナルトキハ養老年金證書ノ記號及番號）  
三 指定セラレタル者ノ氏名

前項ノ届書ニハ之ニ捺捺シタル印章ニ付テノ市町村長ノ印鑑證明書ヲ添附スベシ

第四十六條 法第三十三條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保険院長官ニ提出スベシ  
一 請求者ノ氏名、生年月日及住所  
二 養老年金受給者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 養老年金證書ノ記號及番號（不詳ナルトキハ其ノ旨）

四 養老年金受給者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十九條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五 請求者ガ令第十九條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナント認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナント認ムル旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 養老年金受給者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

二 養老年金受給者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

三 請求者ガ届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル配偶者ナルトキハ其ノ事實ヲ認め得ベキ書類

四 請求者ガ令第十九條第三號ノ規定ニ該當スル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認め得ベキ書類

五 請求者ガ令第十九條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

第四十七條 法第三十四條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ被保險者臺帳ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十九條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

五 請求者ガ令第十九條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナント認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナント認ムル旨

前條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ之ヲ準用ス

第三節 廢疾年金及廢疾手當金

第四十八條 廢疾年金又ハ廢疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十二條ニ規定スル期間經過ノ日(其ノ期間内ニ廢疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ガ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日)ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、及住所生年月日

二 被保險者臺帳ノ記號及番號

三 被保險者ニ在リテハ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在地

四 被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日竝ニ最後ニ被保險者トシテ使用セラレタル事業所ノ名稱及所在地

五 廢疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日竝ニ治癒シタリヤ否ヤ及治癒シタルトキハ其ノ年月日

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 廢疾ノ狀態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關ス

ル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書

二 印鑑票

第四十九條 前條第一項ノ請求書ノ提出アリタルトキハ保險院長官ハ其ノ給付ニ關スル決定ヲ爲シ之ヲ請求者ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テ廢疾年金ヲ受クル權利ヲ有スルモノト決定シタルトキハ保險院長官ハ請求者ニ廢疾年金證書ヲ交付ス

第五十條 廢疾年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

一 廢疾年金證書ノ記號及番號

二 廢疾年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別

三 廢疾年金ノ額

四 廢疾年金ノ支給開始ノ年月

第五十一條 廢疾年金受給者ハ毎年三月中ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ保險院長官ニ提出スベシ但シ其ノ年ニ於テ廢疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所

二 廢疾年金證書ノ記號及番號

前項ノ届書ニハ届出ノ日前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル其ノ者ノ生存ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本ヲ添附スベシ但シ保險院長官ノ指定シタル者ニ在リテハ其ノ者ノ生存ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本ニ代ヘ届出ノ日前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタル廢疾ノ現狀ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ證明書ヲ添附スベシ

前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十五條第二項ノ規定ニ依リ廢疾年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第五十二條 癱疾年金受給者ハ其ノ癱疾ガ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ十日以内ニ保険院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 癱疾年金證書ノ記號及番號

三 癱疾ガ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタル年月日(年月日ガ不詳ナルトキハ其ノ推定ノ年月日)

前項ノ届書ニハ癱疾年金證書ヲ添附スベシ但シ之ヲ添付スルコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ添附スベシ

保險院長官ハ前項ノ規定ニ依リ癱疾年金證書又ハ事由書ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク受領證ヲ届出者ニ送付スベシ

第五十三條 癱疾ガ癱疾年金ヲ受クル程度ノ状態ニ該當セザルニ至リタル場合及第二十九條第二項ノ規定ニ依リ養老年金ノ受給ヲ選擇シタル場合ニ於テノ其ノ期ノ癱疾年金ハ支給期日ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

前項ノ場合ニ於テノ其ノ期ノ癱疾年金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ別ニ指定スル官署ニ就キ第三十一條第四項又ハ前條第三項ノ受領書ヲ提示シテ其ノ支給ヲ受クベシ

第五十四條 第三十三條乃至第三十八條及第四十條乃至第四十三條ノ規定ハ癱疾年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第五十五條 第四十四條乃至第四十六條ノ規定ハ法第三十八條又ハ法第三十九條ノ規定ニ依ル一時金ノ支

給ニ關シ之ヲ準用ス

#### 第四節 遺族年金

第五十六條 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニハ遺族年金證書ヲ交付ス

遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ但シ第五十七條第一項ノ請求書ヲ提出スベキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ被保險者臺帳ノ記號及番號(被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ養老年金又ハ癱疾年金受給者ナリシトキハ養老年金證書又ハ癱疾年金證書ノ記號及番號)(何レモ不詳ナルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ家ニ在ル者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍ノ謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ

檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

三 請求者ガ届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル配偶者ナルトキハ其ノ事實ヲ認め得ベキ書類

四 請求者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡

當時六十歳未満ノ男子タル配偶者ナルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具癱疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認め得ベキ書類

五 請求者ガ配偶者ニ非ザルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタルコトヲ認め得ベキ書類

六 請求者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時十五歳以上ノ直系卑屬又ハ六十歳未満ノ直系尊屬ナルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具癱疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認め得ベキ書類

七 印鑑票

第五十七條 法第四十六條ノ規定ニ依リ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ後順位者ハ遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスルコトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄

四 前遺族年金受給者ノ氏名

五 前遺族年金受給者ノ遺族年金證書ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 前遺族年金受給者ガ遺族年金ヲ受クル權利ヲ失ヒタル年月日及其ノ事由  
前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 前遺族年金受給者が死亡シタル場合ニ於テハ其ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

二 請求當時ニ於ケル請求者ノ戶籍ノ謄本

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタルコトヲ認メ得ベキ書類

四 請求者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時十五歳以上ノ直系卑屬又ハ六十歳未満ノ直系尊屬ナルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認メ得ベキ書類

五 印鑑票

遺族年金ノ支給ヲ受クベキ先順位者タル者ヨリ前條第二項ノ請求書ノ提出ナキ場合ニ於テ法第四十六條ノ規定ニ依リ遺族年金ノ支給ヲ受クベキ後順位者ガ遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ前條ノ例ニ依ルベシ

前項ノ規定ニ依リ遺族年金證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ請求書ニ第一項第四號及第六號ニ掲グル事項ヲ附記シ第二項第一號ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

第五十八條 遺族年金證書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載ス

- 一 遺族年金證書ノ記號及番號
- 二 遺族年金受給者ノ氏名、生年月日及男女別
- 三 遺族年金ノ額
- 四 遺族年金ノ支給開始ノ年月及支給期間

第五十九條 遺族年金受給者ハ毎年三月中ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

但シ其ノ年ニ於テ遺族年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 氏名及住所

二 遺族年金證書ノ記號及番號

前項ノ屆書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 届出者ノ生存ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戶籍ノ抄本ニシテ届出ノ日前一月以内ノ間ニ於テ作製セラレタルモノ

二 届出者ガ令第十六條第一項後段又ハ第二項ノ規定ニ該當スル者ナルトキハ現ニ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認メ得ベキ書類

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄法第五十五條第二項ノ規定ニ依リ遺族年金ノ支給ヲ一時差止ムルコトアルベシ

第六十條 令第十七條ノ規定ニ依リ申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 申請者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名及生年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト申請者トノ續柄

四 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニシテ所在不明ナルモノノ氏名

五 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ニシテ所在不明ナルモノノ遺族年金證書ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)

六 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ所在不明ト爲リタル年月日及其ノ事由

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ引續キ一年以上所在不明ナルコトヲ證スルニ足ル書類

二 申請當時ニ於ケル申請者ノ戶籍ノ謄本

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタルコトヲ認メ得ベキ書類

四 申請者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時十五歳以上ノ直系卑屬又ハ六十歳未満ノ直系尊屬ナルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認メ得ベキ書類

第六十一條 遺族年金受給者ハ令第二十二條各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 遺族年金證書ノ記號及番號

三 令第二十二條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル年月日及其ノ事由

前項ノ屆書ニハ遺族年金證書ヲ添附スベシ但シ之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由書ヲ添附スベシ

保險院長官ハ前項ノ規定ニ依リ遺族年金證書又ハ事由書ノ提出ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク受領證ヲ届出者ニ送付スベシ

爲リタル年月日及其ノ事由

前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 遺族年金ヲ受クル權利ヲ有スル者ガ引續キ一年以上所在不明ナルコトヲ證スルニ足ル書類

二 申請當時ニ於ケル申請者ノ戶籍ノ謄本

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ者ニ依リ生計ヲ維持シタルコトヲ認メ得ベキ書類

四 申請者ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時十五歳以上ノ直系卑屬又ハ六十歳未満ノ直系尊屬ナルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時ヨリ引續キ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナキコトヲ認メ得ベキ書類

第六十二條 遺族年金受給者ガ令第二十二條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テ其ノ期ノ遺族年金ハ支給期月ニ非ザル時期ニ於テモ之ヲ支給ス

遺族年金受給者ガ令第二十二條各號ノ一ニ該當スル



ニ至リタル場合ニ於テノ其ノ期ノ遺族年金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ別ニ指定スル官署ニ就キ前條第三項ノ受領證ヲ提示シテ其ノ支給ヲ受クベシ

第六十三條 法第四十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄又ハ關係及請求者ガ令第十九條但書ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ旨

四 請求者ガ令第十九條各號ニ掲グル者ナルトキハ他ニ同條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナシト認ムル旨、同條第三號ニ掲グル者ナルトキハ自己ノ外ニ之ニ該當スル者ナシト認ムル旨

五 前遺族年金受給者ノ氏名

六 前遺族年金受給者ノ遺族年金證書ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)

七 前遺族年金受給者ガ遺族年金ヲ受ケル權利ヲ失ヒタル年月日及其ノ事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 遺族年金受給者ガ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

二 請求者ガ届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル配偶者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ベキ書類

三 請求者ガ令第十九條第三號ノ規定ニ該當スル者ナルトキハ其ノ事實ヲ認メ得ベキ書類

四 請求者ガ令第十九條但書ノ規定ニ依ル遺言ニ依リ指定セラレタル者ナルトキハ其ノ遺言書ノ寫

第六十四條 第三十四條乃至第三十八條及第四十條乃至第四十三條ノ規定ハ遺族年金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第六十五條 第四十四條及第四十五條ノ規定ハ法第四十七條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

#### 第五節 脱退手當金

第六十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ死亡シタル場合ニ於ケル脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 請求者ノ氏名、生年月日及住所

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名、生年月日及死亡ノ年月日

三 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ被保險者臺帳ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)

四 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ最後ニ被保險者トシテ使用セラレタル事業所ノ名稱及所在地

五 被保險者又ハ被保險者タリシ者ト請求者トノ續柄  
六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ法第七十二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ該當スル者ナルトキハ其ノ旨

前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ關シ市町村長ニ提出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ

檢視調書ニ記載シタル事項ノ市町村長ノ證明書又ハ之ニ代ハルベキ書類

二 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡ニ因ル相續關係ヲ明瞭ニシ得ル戸籍謄本又ハ除カレタル戸籍ノ謄本

第六十七條 被保險者タリシ者ハ脱退手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 被保險者臺帳ノ記號及番號

三 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

四 最後ニ被保險者トシテ使用セラレタル事業所ノ名稱及所在地

五 第四十八條第一項ノ規定ニ依ル請求ヲ爲シタル者ニ在リテハ其ノ旨

六 法第七十二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ旨

前項第六號ニ掲グル事項ヲ記載シタル者ニ在リテハ前項ノ請求書ニ其ノ者ノ生年月日ニ關スル市町村長ノ證明書又ハ戸籍ノ抄本ヲ添附スベシ

第六十八條 法第五十一條ノ規定ニ依ル支給金ノ支給ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル請求書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名及住所

二 廢疾年金證書ノ記號及番號

三 第五十二條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタル年月日

#### 第四章 雜則

第六十九條 法第十條ノ規定ニ依ル質問又ハ検査ヲ爲

ス場合ニ於テハ當該官吏ハ様式第六號ニ依ル證票ヲ携帶スベシ

第七十條 令第七條第一項ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第七號ニ依ル

第七十一條 廳府縣(東京府ヲ除ク)ノ官吏方滯納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スベキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ハ様式第八號ニ依ル

第七十二條 法第十三條ノ規定ニ依ル公告ハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳)又ハ勞働者年金保險ノ事務ヲ分掌スル廳府縣出張所ニ之ヲ爲スベシ

第七十三條 令第二十七條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ事業所毎ニ之ヲ備フベシ

一 被保險者ノ氏名

二 控除シタル保險料ノ金額

三 控除シタル年月日

第七十四條 任意繼續被保險者ハ毎月ノ保險料ヲ其ノ月十日迄ニ納付スベシ

第七十五條 事業主ハ勞働者年金保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スベシ

第七十六條 本令ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スベキ左ニ掲グル事項ニ付テハ事業主ハ豫メ代理人ヲ選任シ之ヲ處理セシムルコトヲ得

一 第三條、第六條第二項、第九條、第十條、第十四條、第十七條、第十八條、第二十三條、第二十四條第二項及第二十五條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコト

二 第六條第二項ノ規定ニ依ル養老年金證書又ハ廢疾年金證書ノ提出ヲ爲スコト

三 第七條第二項ノ規定ニ依ル受領證ノ交付ヲ爲スコト

四 第八條第三項ノ規定ニ依ル記番號通知票ノ交付ヲ爲スコト

五 第二十六條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ告知ヲ爲スコト

事業主ハ前項ノ規定ニ依リ代理人ヲ選任シタルトキハ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ

事業主ガ地方長官ニ對シ健康保險法施行規則第八條ノ第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十七條 本令ノ規定ニ依リ申請書、請求書又ハ届書ニ事業主ノ同意書、市町村長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スベキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ診斷書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第七十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四條又ハ第十五條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者

二 第五條ノ規定ニ依ル申請書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 正當ノ理由ナクシテ第六條第一項ノ規定ニ依ル養老年金證書又ハ廢疾年金證書ノ提出ヲ爲サザル者

四 第十四條、第二十條、第五十二條第一項又ハ第六十一條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

附則

第七十九條 本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十八條乃至第六十八條、第七十條乃至第七十四條及第八十一條乃至第百條ノ規定ハ昭和十七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八十條 政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者タル者ガ昭和十七年二月一日前ニ於テ強制被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ第三條ノ規定ニ拘ラズ事業主ハ同條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要セズ

第三條ノ規定ニ依ル届出ノ期間ハ昭和十七年二月一日前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ昭和十七年二月一日ヨリ十日以内トシ、第二十一條ノ規定ニ依ル申請ノ期間ハ昭和十七年二月一日前ニ於テ被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スルニ至リタル者ニ關シテハ昭和十七年二月一日ヨリ一月以内トス

第八十一條 法第七十二條第一項ノ規定ニ該當スル者ヲ使用スル事業主ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ昭和十七年六月一日ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スベシ

一 法第七十二條第一項ノ規定ニ該當スル被保險者ノ氏名及生年月日

二 被保險者ノ帳簿ノ記號及番號

三 被保險者ガ昭和十七年六月一日ニ於テ現ニ使用セラルル事業主ノ工場、事業場若ハ事業又ハ現ニ使用セラルル工場、事業場若ハ事業ニ同日迄引續キ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者トシテ使用セラレタル期間

事業主ハ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ被保險者ニ告知スベシ

第八十二條 令第三十二條ノ規定ニ依リ被保險者タラザラントスル申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 申請者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 申請者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所
- 三 申請者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在地

四 共済組合ノ名稱及所在地

第八十三條 令第三十四條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書(正副二通)ヲ保險院長官ニ提出スベシ

- 一 申請者ノ氏名、生年月日及住所
- 二 申請者ノ被保險者彙帳ノ記號及番號(記番號通知票ノ交付ヲ受ケザル者ニ在リテハ其ノ旨)
- 三 申請者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所
- 四 申請者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在地
- 五 申請者ガ前號ノ事業所ニ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者トシテ使用セラルルニ至リタル年月日

- 六 郵便年金證書ノ記號番號
- 七 年金契約者ノ氏名
- 八 年金契約ノ效力發生ノ年月日
- 九 團體郵便年金ノ記號番號
- 十 團體郵便年金組合ノ名稱及所在地
- 十一 團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ氏名前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一 年金契約者ノ同意書
- 二 當該年金契約ガ昭和十七年六月一日現在ニ於テ

郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クルモノナルコトノ團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ證明書

第八十四條 令第三十五條第一項ノ規定ニ依ル利息ノ計算ハ各回ノ掛金ニ付其ノ拂込ノ月ノ翌月ヨリ起算シ昭和十七年六月一日ヨリ三年ヲ經過シタル日ノ屬スル月迄ノ期間ニ對シ複利計算ニ依リ之ヲ爲スモノトス

第八十五條 令第三十四條ノ規定ニ依リ平均標準報酬額ヲ改定シタルトキハ保險院長官ハ其ノ旨ヲ第八十三條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲シタル者ニ通知ス

第八十六條 令第三十五條第二項ノ規定ニ依ル差額アルトキハ保險院簡易保險局長ハ返還金支拂通知書ヲ返還金受取人ニ送付ス

返還金受取人前項ノ通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ通知書ニ記名捺印シ郵便年金證書及郵便年金通帳ノ受領證ヲ添ヘ通知書ニ指定シタル郵便局ニ之ヲ提出シ返還金ノ拂渡ヲ受クベシ

第八十七條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者タラザラントスル申請ヲ爲サントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書(正副二通)ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 申請書ノ氏名、生年月日及住所
- 二 申請書ノ被保險者彙帳ノ記號及番號(記番號通知票ノ交付ヲ受ケザル者ニ在リテハ其ノ旨)
- 三 申請者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所

四 申請者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在地

五 申請者ガ前號ノ事業所ニ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者トシテ使用セラルルニ至リタル年月日

六 郵便年金證書ノ記號番號

七 年金契約者ノ氏名

八 年金契約ノ效力發生ノ年月日

九 年金契約ニ對スル毎半年ノ豫定掛金額

十 前號ノ豫定掛金額中事業主ノ負擔スル豫定額

十一 健康保險ノ標準報酬ノ等級

十二 坑内夫ナルトキハ其ノ旨

十三 團體郵便年金ノ記號番號

十四 團體郵便年金組合ノ名稱及所在地

十五 團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ氏名前項ノ申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 事業主ノ同意書

二 左ニ掲グル事項ニ關スル團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ證明書

(イ) 申請者ガ現ニ組合員タルコト

(ロ) 當該年金契約ガ昭和十七年六月一日現在ニ於テ郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クルモノナルコト

第八十八條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者タラザラル者ハ前條第一項第一號、第三號、第四號、第七號又ハ第十一號乃至第十五號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 氏名、生年月日及住所

二 郵便年金證書ノ記號番號

三 變更前ノ事項及變更後ノ事項並ニ變更ノ年月日

第八十九條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但

書ノ規定ニ依リ被保險者タラザル者ハ事業主、年金

契約者又ハ團體郵便年金組合ノ組合代表者ニ變更ア

リタルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル

届書ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 届出者ノ氏名、生年月日及住所

二 届出者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在

地

三 郵便年金證書ノ記號番號

四 變更前ノ事業主、年金契約者又ハ團體郵便年金

組合ノ組合代表者及變更後ノ事業主、年金契約者

又ハ團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ氏名並ニ變

更ノ年月日

第九十條 令第四十條第一項第一號ノ規定ニ依ル期間

ハ一月一日ヨリ六月末日迄ニ拂込ムベキ掛金ニ付テ

ハ一月一日ヨリ七月末日迄、七月一日ヨリ十二月末

日迄ニ拂込ムベキ掛金ニ付テハ七月一日ヨリ翌年一

月末日迄ノ期間トス

第九十一條 團體郵便年金組合ノ組合代表者ハ令第三

十七條又ハ令第三十九條第一項但書ノ規定ニ依リ被

保險者タラザル年金受取人ニ關スル年金契約ニ付團

體郵便年金規則第十二條ノ規定ニ依リ掛金ノ拂込ヲ

爲サントストキハ團體年金掛金内譯書、團體年金

掛金報知書及團體年金掛金通知書ノ備考欄ニ左ニ掲

グル事項ヲ記載スベシ

一 健康保險ノ標準報酬ノ等級

二 坑内夫ナルトキハ其ノ旨

三 事業主ノ掛金負擔額

第九十二條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但

書ノ規定ニ依リ被保險者タラザル者ハ令第四十條第

一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルコトヲ知りタル

トキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ事業主ニ申出ヅベシ

第九十三條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但

書ノ規定ニ依リ被保險者タラザル者ガ令第四十條第

一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ事業主ハ

左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ五日以内ニ地方

長官ニ提出スベシ

一 事業主ノ氏名及住所

二 事業所ノ名稱及所在地

三 令第四十條第一項ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格

ヲ取得シタル者ノ氏名及生年月日

四 令第四十條第一項各號ノ何レニ該當スルヤノ別

及該當スルニ至リタル年月日

五 健康保險ノ標準報酬ノ等級

六 坑内夫ナルトキハ其ノ旨

七 郵便年金證書ノ記號番號

八 團體郵便年金ノ記號番號

事業主ハ前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタルトキハ第

三條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要セズ

第一項ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スベキ届出ハ第七十

六條第一項ノ規定ニ依リ事業主ノ選任シタル代理人

ヲシテ之ヲ處理セシムルコトヲ得

第九十四條 令第三十七條又ハ令第三十九條第一項但

書ノ規定ニ依リ被保險者タラザル者ハ強制被保險者

ト爲ルベキ資格ヲ有スル者タラザルニ至リタルトキ

ハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ヲ保險

院長官ニ提出スベシ

一 届出者ノ氏名、生年月日及住所

二 届出者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在

地（其ノ業務ニ使用セラレザルニ至リタルニ因リ

強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者タラザル

ニ至リタル者ニ在リテハ最後ニ使用セラレタル事

業所ノ名稱及所在地）

三 前號ノ事業所ノ事業主ノ氏名及住所

四 強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スル者タラザ

ルニ至リタル年月日及其ノ事由

五 郵便年金證書ノ記號番號

六 團體郵便年金ノ記號番號

第九十五條 令第四十一條ノ規定ニ依リ申請ヲ爲サン

トスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書（正

副二通）ヲ保險院長官ニ提出スベシ

一 申請者ノ氏名、生年月日及住所

二 申請者ヲ使用スル事業主ノ氏名及住所

三 申請者ガ現ニ使用セラルル事業所ノ名稱及所在

地

四 令第三十九條第一項又ハ令第四十條第一項第一

號ノ規定ニ該當スルニ至リタル年月日

五 郵便年金證書ノ記號番號

六 年金契約者ノ氏名

七 團體郵便年金ノ記號番號

八 團體郵便年金組合ノ名稱及所在地

九 團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ氏名

前項ノ申請者ニハ年金契約者ノ同意書ヲ添付スベシ

第一項ノ申請書ヲ提出シタル者ハ其ノ申請書ノ寫ト

共ニ郵便年金證書及郵便年金通帳ヲ郵便局ニ提出シ其ノ受領證ヲ受取ルベシ

第九十六條 令第四十二條第二項ノ規定ニ依ル差額アルトキハ保險院簡易保險局長ハ返還金支拂通知書ヲ返還金受取人ニ送付ス

返還金受取人前項ノ通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ通知書ニ記名捺印シ郵便年金證書及郵便年金通帳ノ受領證ヲ添ヘ通知書ニ指定シタル郵便局ニ之ヲ提出シ返還金ノ拂渡ヲ受クベシ

第九十七條 第八十三條、第八十七條又ハ第九十五條ノ規定ニ依ル申請書ニ事業主若ハ年金契約者ノ同意書又ハ團體郵便年金組合ノ組合代表者ノ證明書ヲ添付スベキ場合ニ於テ其ノ申請書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ同意書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ得

第九十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第八十八條、第八十九條又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第九十一條ノ規定ニ依ル記載ヲ怠リ又ハ其ノ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 第九十二條ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リタル者

第九十九條 第八十三條乃至前條ノ規定ハ令第四十四條ノ規定ニ該當スル者ガ強制被保險者ト爲ルベキ資格ヲ有スルニ至リタル場合ニ之ヲ準用ス

第一百條 郵便年金令第十四條ノ規定ノ適用ヲ受クル郵便年金契約ノ年金受取人ガ被保險者ト爲リタル場合ニ於テ團體郵便年金中ヨリ脱退シタルトキ又ハ同令

同條ノ規定ノ適用ヲ受クル郵便年金契約ノ年金受取人ニシテ被保險者タルモノガ團體郵便年金中ヨリ脱退シタルトキハ團體郵便年金組合ノ組合代表者ハ團體郵便年金規則第十五條ノ規定ニ依ル團體郵便年金脱退通知書ノ備考欄ニ其ノ年金受取人ガ被保險者ナル旨ヲ記載スベシ

(備考) 各號様式表ヲ省略。

### 米穀生産獎勵金交付規則の公布

昭和十六年十二月五日付官報を以て公布されたる米穀生産獎勵金交付規則を掲ぐれば次の如くである。

#### 米穀生産獎勵金交付規則

(昭和十六年十二月五日) 農林省令第九十八號

第一條 農林大臣ハ米穀ノ生産ヲ確保スル爲本則ニ依リ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ毎年左ニ掲グル當該年産ノ米穀ニ付米穀生産者ニ之ヲ交付ス

一 自作者ニ在リテハ管理米トシテ出荷シタルモノ  
二 小作者ニ在リテハ管理米トシテ出荷シタルモノ  
及小作料トシテ納付シタルモノ

第三條 獎勵金ノ額ハ玄米又ハ精米ニ付テハ一石當五圓トシ粗ニ付テハ十貫當九十錢トス

第四條 米穀生産者獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ第二條ニ掲グル米穀ニ付米穀管理事務取扱員ノ確認ヲ受クベシ

第五條 米穀管理事務取扱員前條ノ確認ヲ爲シタルトキハ當該米穀生産者ニ對シ其ノ氏名及獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ヲ記載シタル證明

書ヲ交付スベシ

第六條 米穀生産者獎勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ前條ノ規定ニ依リ米穀管理事務取扱員ヨリ交付ヲ受ケタル證明書ヲ當該生産者ガ販賣組合ノ組合員タル場合ニ在リテハ其ノ所屬スル販賣組合、組合員ニ非ザル場合ニ在リテハ其ノ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ヲ寄託シタル農業倉庫業者又ハ其ノ所屬スル農事實行組合ノ加入スル販賣組合ニ提出スベシ

第七條 販賣組合又ハ農業倉庫業者ハ前後ノ規定ニ依リ米穀生産者ノ提出シタル證明書ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ニ付獎勵金交付請求書ヲ作成シ之ニ米穀管理事務取扱員ノ證明ヲ受ケ當該道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ニ之ヲ送付スベシ

第八條 販賣組合聯合會ハ前條ノ規定ニ依リ販賣組合又ハ農業倉庫業者ノ送付シタル獎勵金交付請求書ニ依リ當該道府縣ニ於ケル獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ米穀ノ數量ニ付獎勵金交付請求書ヲ作成シ之ニ農産物検査所長ノ證明ヲ受ケ全國購買販賣組合聯合會ニ之ヲ送付スベシ

第九條 全國購買販賣組合聯合會ハ前條ノ規定ニ依リ販賣組合聯合會ノ送付シタル獎勵金交付請求書ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ農林大臣ニ申請スベシ

第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金交付ノ申請ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ農林大臣ハ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ